



6月 学校だより



令和8年5月29日
横浜市立八景小学校
〒236-0021
金沢区泥亀1-21-2
Tel 045-781-2434

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hakkei/>

一人ひとりの色を大切に

教務主任 吉本 圭太郎

新年度が始まり、2か月が過ぎました。5月15日(金)には全校遠足がありました。6年生が中心となって、それぞれの学年の友達に合わせて声をかけ、安全に楽しく活動することができました。その様子はタイムラインでも配信していますので、ご覧下さい。

さて、その全校遠足や運動会の際、八景小では、遠くから見ても分かりやすいように職員がオレンジ色の「八景小Tシャツ」を着用しています。

オレンジ色は元々私が大好きな色です。明るく元気な気持ちになれる色だからです。オレンジ色の他にも、黄色とピンク色の「八景小Tシャツ」を持っています。今年は新たに、赤色と青色を購入しました。

初めて青色を着て昇降口で子どもたちを出迎えた日のことです。いつもと変わらず登校してきた子どもたちは私を見るなりロクに

「え、それ青もあるの!?!」「先生は、青のイメージではないな。」「意外と青も似合うね。」などといろいろな感想を言ってくれました。

子どもたちの感想を聞いて、「色」についてふと考えさせられました。

学級は、いろいろな子どもたちの個性(≡色)の集まりです。自分の色の美しさ、友達の色の美しさを感じながら、また、大切にしながら、生活する場であってほしいものです。多くの色があるからこそ、すべての色が美しく見える。みんなが別々の色でありながら、みんなが互いを補い合う。同じ赤でもいろいろな赤があったり、虹のようにいろいろな色がグラデーションになって境目なく美しく見えたり…学級が、そして、学校全体がそうになっていったらとても素敵だと思います。

「八景小Tシャツ」のように一つの色にまとまるよさもあると思います。ですが、予測不可能な未来を切り拓くには、一人ではなく、たくさんの人の力が必要になります。次期指導要領改訂に向けた検討では、「多様性の包摂」が重要なキーワードとして議論されている今、子どもたち一人ひとりの色をより輝かせる学校教育の役割が期待されています。そして、子どもたち自身が、自分の個性(≡色)を認知する力をつけていくことも大切です。毎日の学校生活の中で、子どもたち同士のかかわり合いを大切にしながら、子どもたち一人ひとりが自分の色を発揮していけるようにしたいと考えます。

それも「心はひとつ 八景小」の一つの具体の形なのではないかと思います。子どもたち一人ひとりが学級の、学校の彩(いろどり)の一員であり中心になるよう、これからも八景小の学校教育目標の実現を様々な形で、また、様々な場面でデザインしていきます。